

平成 20 年度の事業活動報告

1 調査研究事業

(1) 調査研究活動

森林体験活動におけるマナー等に関する調査

助成者 (社)国土緑化推進機構

事業期間 平成 19 年 9 月～平成 20 年 8 月

森林体験活動におけるマナーの向上等に資するため、活動におけるマナー等に関するアンケートなどを行い、普及教材「絵で見るもりのマナーと安全」を作成。

上下流連携いきいき流域プロジェクト事業への参画

主催団体 日本林業技士会

事業期間 平成 20 年 7 月～平成 21 年 3 月

本事業のシンポジウム「川上から川下をつなぐ取組 国産材の時代を確かなものに」の実施及び取組事例集の取りまとめに参画。

(2) 他団体の研究活動等への参加

事業活動に活かすため、他団体の研究活動等に参加。

森林共生フォーラム

子ども樹木博士認定活動推進協議会

森林セラピー研究会（平成 20 年 7 月解散）

巨樹・巨木保護中央協議会

全国森林インストラクター会

自然体験活動推進協議会（NPO 法人）

ウインターレジャーリーグ（NPO 法人）

2 普及啓もう事業

(1) 機関誌の発行等

ア 機関誌「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員等に配布。(251(2008年4月)～262(2009年3月))

イ 森林内での安全で楽しい体験活動の推進に資する「絵で見るもりのマナーと安全」及び改訂版「森林環境教育の手引き 森林体験活動のガイド」を刊行。

(2) 第22回森林レクリエーション全国研修会の開催

テーマ 「豊かな大自然と森林総合利用」

観光立国をめざした森林レクリエーション

開催時期 平成20年10月9～10日(木～金)

開催場所 宮城県蔵王町、山形県山形市・上山市

参加人員 37人

研修内容

第1日(10月9日)

蔵王町 伝統産業会館(みやぎ蔵王こけし館)の視察等

レクリエーションの森(野外スポーツ地域)の視察

・蔵王エコーライン、三階滝、お釜等

・ライザスキーワールド

・交流促進施設・トレーニングセンター「ZA0たいらぐら」

第2日(10月10日)

レクリエーションの森(野外スポーツ地域)の視察

・蔵王スキー場

・蔵王自然公園

山形市野草園の視察等

(3) 支部総会等の開催

支部総会・研修会等の開催状況

| 支部名等 | 開催日 | 開催地等 | 本部出席者 |
|--------------|-----------------------------------|------------------------|-------------------------|
| 道 央 | 20年11月19日 | 札幌市 | 伴理事長 |
| 旭 川 | 20年3月7日 | 旭川市 | 松田理事長 |
| 帯 広 | 21年1月15日 | 帯広市 | 伴理事長 |
| 函 館 | 20年8月22日 | 函館市 | 伴理事長 |
| 青 森 (研修会) | 20年8月19～20日 | 岩手県雫石町 (岩手県雫石町等) | 伴理事長 |
| 秋 田 (研修会) | 20年8月19～20日 | 岩手県雫石町 (岩手県雫石町等) | 伴理事長 |
| 前 橋 (研修会) | 20年8月27日 ----- 20年10月23～24日 | 前橋市 ----- 栃木県那須町 | 伴理事長 ----- 尾古専務理事 |
| 東 京 | 20年7月8日 | 東京都江東区 | 伴理事長 |
| 長 野 | 20年6月25日 | 長野市 | 伴理事長 |
| 名古屋 | 20年10月7日 | 名古屋市 | 伴理事長 |
| 大 阪 | 20年9月26日 | 大阪市 | 伴理事長 |
| 四 国 (研修会) | 20年11月14日 ----- 20年7月10～11日 | 高知市 ----- 高知県馬路村 | 伴理事長 ----- 伴理事長 |
| 九 州 | 20年10月31日 | 熊本市 | 伴理事長 |
| 賛助会員 研修会 | 20年2月13日等 | 東京(森林共生フォーラム「研究会」への参加) | |

(注) 青森支部と秋田支部の研修会は合同で開催。

(4) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供、研修会等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会や現地研修会の開催等の活動を実施。

(5) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等をPRするとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行、実施団体や

活動計画等の登録， 実施団体リーダー交流会の開催， 子ども樹木博士認定証や樹木の説明教材「樹木ガイド」の提供， インストラクターの紹介等の活動を実施。

(6) 巨樹・巨木保護運動への支援

国有林野内の巨樹・巨木の保護に資することを目的とする「巨樹・巨木保護中央協議会」の事務局として， 情報連絡， 普及等の活動を実施。

(7) 森林セラピー研究会活動への支援

「森林セラピー研究会」の事務局の一員として， 森林療法に関する普及啓発等の活動を推進。（本研究会は平成 20 年 7 月に解散）

(8) 森林倶楽部への協力

森林管理局が主催する森林倶楽部の円滑な実施に資するため， 参加者の傷害保険への加入に協力。

東北森林管理局ほか 2 局（開催回数 8 回， 加入者 249 人）

(9) 他団体主催行事への後援等

第 19 回森と花の祭典 みどりの感謝祭・平成 20 年度森林の市（協賛）

平成 20 年 5 月 10～11 日（日比谷公園）

エコ・グリーンテック 2008（協賛）

平成 20 年 10 月 31 日～11 月 2 日（日比谷公園）

ウインターリゾート 2009（後援）

平成 20 年 11 月 1～3 日（池袋サンシャインシティ）

山村力（やまぢから）コンクール（後援）

平成 20 年 9 月～11 月（財団法人 都市農山漁村交流活性化機構）

平成 20 年度国有林野事業業務研究発表会（協会会長賞の授与等）

平成 20 年 11 月 27 日（林野庁）

全国森林レクリエーション協会会長賞

（森林ふれあい部門）

受賞者 東北森林管理局 企画調整室 水野 梓 氏

（元山形森林管理署最上支署）

山形県 舟形町教育委員会 大山 邦博 氏

ブナの実 2 1 佐藤 和夫 氏

課題名 「継続する森林環境教育

舟形町・ブナの実 2 1 と連携した活動を通じて 」

3 情報の収集・提供

- (1) 森林レクリエーション活動に関する事例紹介
- (2) 森林環境教育・健康に関する情報
- (3) 森林を活用した地域振興に関する情報
- (4) 森林・林業に関する行政等の情報
- (5) ウインターレジャーに関する情報
- (6) 当協会に関する情報

4 第21回森林レクリエーション地域美化活動コンクールの実施

都道府県や森林管理局，当協会支部を通じて，森林レクリエーション地域において積極的に美化活動を行っている学校，地域グループ，職場グループ等のボランティア団体等を公募（締め切りは平成21年2月末日）。

応募総数29団体について審査委員会による審査の結果，次の受賞団体を決定。

農林水産大臣賞 長野県飯山市 いいやまブナの森倶楽部
林野庁長官賞 静岡県富士宮市 あおきだいら倶楽部
香川県東かがわ市 東かがわ市北山森林ボランティア会
協会会長賞 長野県飯山市 特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ
岐阜県岐阜市 金華山サポーターズ
京都府亀岡市 亀岡里山クラブ
長崎県長崎市 長崎グリーンヘルパーの会

5 平成20年度森林インストラクター資格認定事業

受験申込者数は793人（前年度825人），合格者数は202人（同201人）で，平成3年度からの合格者数の累計は3,020人。

森林インストラクターの資格試験並びに養成講習については，平成17年度から，いわゆる環境教育推進法に基づく「人材認定等事業」として農林水産大臣並びに環境大臣の登録を受けて実施しており，平成20年度の実施状況は次のとおり。

資格試験の公募案内書の配布開始（平成20年2月1日）

森林インストラクター養成講習の募集開始（平成 20 年 4 月 1 日）

森林インストラクター養成講習の実施

| 区 分 | 科 目 | 期 間 | 日 数 | 場 所 | 受講者数 |
|-------|-------|-----------|-----|----------|-------|
| 科目別講習 | 森 林 | 5.17~5.19 | 3 | 東京・三会堂ビル | 176 人 |
| | 野外活動等 | 6. 7~6. 9 | 3 | 同 上 | 158 人 |
| | 林 業 | 6.21~6.22 | 2 | 同 上 | 165 人 |
| 全科目講習 | 4 科 目 | 8. 9~8.16 | 8 | 同 上 | 133 人 |

一次試験の実施

| 期 日 | 試 験 地 | 会 場 | 申込者数 |
|---------|-------|-----------|-------|
| 9 月 7 日 | 札幌市 | 北海道経済センター | 25 人 |
| | 東京都 | 青山学院大学 | 537 人 |
| | 東大阪市 | 大阪商業大学 | 155 人 |
| | 高知市 | 高知グリーン会館 | 17 人 |
| | 福岡市 | (財)アクロス福岡 | 55 人 |

二次試験の実施

| 期 日 | 試 験 地 | 会 場 | 受験者数 |
|--------------|-------|-------|-------|
| 11 月 15~16 日 | 東京都 | 三会堂ビル | 206 人 |

合格者の審査・決定（平成 20 年 12 月 1 日）

合格者の公表・登録開始（平成 20 年 12 月 9 日）

6 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、森林体験活動の指導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。各種の講習等に併せた講習会や他団体との連携による講習会を実施。（申請により自然体験活動推進協議会(CONE)の「CONE リーダー」としても登録）。

平成 20 年度の実施状況は次のとおり。

(1) 森林インストラクター養成講習に併せた講習会

森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内容を盛り込んで実施。

平成 20 年 5 月 17 日～ 6 月 22 日（うち 8 日間） 受講者数 134 人

平成 20 年 8 月 9 日～16 日 受講者数 128 人

(2) 森林環境教育リーダー研修に併せた講習会

森林環境教育推進総合対策事業の一環として本年度から実施している「森林環境教育リーダー研修」において、森林活動ガイド養成講習の内容を盛り込んで実施。

平成20年12月5日～7日（山形県天童市） 受講者数 17人

平成21年1月30日～2月1日（静岡市） 受講者数 8人

(3) 他団体との連携による講習会

自然体験活動推進協議会の指導者養成団体として、他団体と連携してCONEリーダー（森林活動ガイド）を養成（登録等を実施）。

林野庁森林技術総合研修所（八王子市）

平成20年11月20日～24日（森林ふれあい研修） 受講者数 30人

7 森林環境教育推進総合対策事業

森林に対する国民の理解を深める機会として、また、青少年の体験活動の場としても重要な課題となっている森林環境教育の推進を図るため、森林環境教育に関する普及啓発活動、人材育成等による活動の促進、活動プログラム・教材作成等の取組を実施。

具体的には、事業の実施に必要な事項を検討するため、有識者からなる「企画委員会」や作業部会を開催し、意見等を聴くとともに、次の取組を実施。

(1) 普及啓発活動

森林環境教育活動に関する優良な取組事例等を全国に発信・普及するため、活動や施設等についての評価項目の策定について検討するとともに、活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの充実、メールマガジンの配信、パンフレットの作成等を実施。

ウェブサイト「森で学ぼう！森林環境教育ネットワーク」の運営

URL：<http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

メールマガジンの配信 第7号(4月1日)～第27号(3月16日)

パンフレット：「森林環境教育のすすめ」、「森林環境教育をはじめよう」

(2) 人材の育成等

都道府県における森林環境教育活動の発展、拡大のため、森林環境教育活動に関するマネジメント力の向上を図り、その中核となる者を育成する「森林環境教育マネジメント研修」を実施するとともに、具体的な活動現場における指導者を養成する「森林環境教育リーダー研修」を実施。

森林環境教育マネージメント研修

- ・日時・場所：平成20年11月7日～9日 林友ビル6階会議室
- ・研修対象：森林インストラクター又は地域の森林環境教育活動の推進を先導する者 修了者数 18人

森林環境教育リーダー研修

森林所有者，森林組合の職員，林研グループ会員等を対象として，山形県及び静岡県において実施。併せて研修教材「森林環境教育の手引き 森林体験活動のガイド」を作成。

- ・山形県：平成20年12月5日～7日 天童市 修了者数 17人
- ・静岡県：平成21年1月30日～2月1日 静岡市 修了者数 8人

(3) 活動プログラム・教材作成等

学校教育等において活用できる活動プログラムやアクティビティー集を作成するとともに，森林環境教育の推進に関する基礎的データを収集するための調査を実施。

学校向け「森林環境教育アクティビティー・プログラム集」の作成

8 陳情・要望等の活動

支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項について，林野庁等関係機関へ要請・照会等を実施。

9 会員組織の状況

平成20年度における会員数の異動状況

| 区分 | 平成19年度末 | 入会 | 退会等 | 平成20年度末 |
|------|---------|----|-----|---------|
| 会員 | 301 | 1 | 9 | 293 |
| 賛助会員 | 27 | - | 1 | 26 |
| 合計 | 328 | 1 | 10 | 319 |

(注) 退会等には，市町村合併，企業解散等に伴う減(4)を含む。